令和６年度事業報告

Ⅰ　実施事業

１．機関誌「林業新知識」の配布

１）会員は４７都道府県協会であるが、その会員である構成員は前年度より約２％減少し、１８，４１８名となった。

２）機関誌「林業新知識」を都道府県協会と連携して、構成員等に配付した。

２．研修・表彰事業

１）全国林業普及研修大会の開催

全国林業普及指導職員協議会（以下「全普職」という。）及び全国林業研究グループ連絡協議会（以下「全林研」という。）との共催により、令和６年１１月２９日に東京都内において開催した。

林業普及指導員、林業研究グループ会員、都道府県普及協会関係者など全国から約１２０名の参加を得て、自民党の「普及事業推進議員懇談会」の進藤事務局長、次長を始めとする林野庁関係者に出席いただいた。

会長及び来賓挨拶に続き、有識者の講演、林業普及指導員及び林業研究グループの優良活動事例の発表等を行うとともに、林業普及指導事業の重要性、予算の確保等について引き続き外部の理解の促進を図ることを確認した。

２）第５８回林業関係広報コンクールの実施

広報部門及びホームページ部門の応募者の中から、最優秀賞（林野庁長官賞）２点、優秀賞４点（本会会長賞３点、全国森林組合連合会会長賞１点）及び奨励賞６点を審査委員会において選定した。

３）林業普及指導員永年勤続者表彰の実施

１５年以上の永年勤続者３１名に対し、感謝状及び記念品を贈呈した。

４）その他

公益社団法人大日本山林会主催の第６３回農林水産祭参加全国林業経営推奨行事に協賛団体として参画し、「選ばれた林業経営」の審査に協力した。

また、林業普及指導職員シンポジウム、全国林業グループコンクールなど、国、都道府県、団体等が実施する表彰行事等について、審査への参画等を行った。

３．普及活動等推進事業

１）全林研が行う林業グループの育成、自主的活動の促進等のための活動への助成事業等への支援等を行った。

ア　全国林業後継者大会の開催（岡山県）令和６年５月２５日

イ　ブロック林業グループコンクール及び全国林業グループコンクールの開催

全国６ブロックの地域及び東京都で集合または書面により開催

ウ　中央研修会の開催（東京都）令和６年１１月７日

エ　はつらつ林業女性交流会の開催　令和７年３月１３日

２）「スマート林業推進技術者育成事業」（林野庁委託事業）を本会として実施した。

３）東京電力福島第一原子力発電所事故に関連する「森林・林業再生に向けた普及啓発事業」（林野庁委託事業）を本会として実施した。

４）花粉発生源対策の調査及び普及を行う「効果的な花粉発生源対策の実施に向けた普及及び調査」（林野庁補助事業）を他法人と共同で実施した。

５）林業高校のためのスマート林業学習プログラムの作成等を行う「スマート林業教育推進事業」（林野庁委託事業）を他社と共同で実施した。

６）労働災害を防止するための「労働安全確保マニュアル作成事業」（林野庁補助事業）を本会として実施した。

７）違法伐採木材の流通防止に関する「「クリーンウッド」実施支援事業のうち「専門委員会の設置・運営及び違法伐採関連情報等の提供」（林野庁委託事業）を他の林業団体と共同で実施した。

８）花粉発生源対策として「地域間・産業間連携労働力確保事業」（林野庁補助事業）

を本会として実施した。

9）能力評価システム導入支援を自主事業として実施した。

４．出版・展示事業

1）普及図書の出版

ア「林業新知識」を構成員以外に販売した。

イ「現代林業」を毎月 6,000 部発行した。

ウ　林業改良普及双書を次の３種類発行した。

① No.２０８「花粉発生源対策の施策・研究開発最新情報」全林協編

② No.２０９「事例にみる　林業に活かす J-クレジット制度」全林協編

③ No.２１０「森林環境譲与税 市町村の活用事例 Vol.5」全林協編

エ　次の単行本を刊行した。

①「フォレストワーカー研修テキスト改訂版」　全林協編

②「令和６年版　森林・林業白書」林野庁

オ　次のようなパンフレット類を制作した。

①「保安林のしおり」

②「林業・木材産業改善資金のしおり」

③「森林整備事業のあらまし」

④　治山事業、林道事業等のパンフレット

2）展示事業

「長野県戸隠森林植物園森林学習館」の展示物のメンテナンス業務を行った。

また、「森林・林業教育シリーズ」、「見つめてみよう日本の森林シリーズ」、「里山保全シリーズ」、「地球温暖化防止シリーズ」等のパネルのほか、野外解説板、樹木カード等の野外教材を制作し、販売した。

５．森林認証普及事業

森林認証の普及については、森林認証審査を行う委託先の活動が困難となったことから実施を見送った。

６．調査研究事業

スギ花粉飛散予測のための雄花着花状況の把握について、調査対象都道府県を６道県増やして２３都道府県とし、観測のための定点林を４００から約８００に倍増させて、全国のスギ林で調査等を行う「スギ雄花花芽調査等の推進」（林野庁補助事業）を都道府県や関係団体、県協会と連携して実施した。

また、林野庁が担当する地域以外の地域における雄花着花状況の把握（環境省委託事業）を実施した。

７．野外活動推進事業

森林・林業の研修や林業体験活動の場として、東京都高尾に所在する国有林の分収林契約のもとで育成している「高尾青年の山」については、ボランティア団体の協力を得て、間伐等を行うとともに、森林環境教育のフィールドとして活用した。

森林の大切さを国民に広く理解してもらうための宿泊研修施設である高尾グリーンセンターについては､引き続きボランティア団体に管理を委託して業務を行った。

８．一般販売・委託事業

森林保険宣伝物品の販売等を行った。

Ⅱ　会議、その他

１．理事会

１）　令和６年４月３０日　書面による承認決議

ア）令和５年度事業報告及び収支決算について

イ）令和６年度借入金の最高限度額決定について

ウ）令和６年度事業計画及び収支予算について

エ）役員の業務執行状況について

２）令和６年５月３１日　東京都千代田区一番町２５番地　全国町村議員会館

ア）令和６年度事業計画及び収支予算について

イ）役員の業務執行状況について

３）令和７年３月１４日　東京都千代田区永田町1－11－30 サウスヒル永田町

ア）令和７年度の事業計画及び収支予算について

イ）令和７年度の通常総会の開催について

ウ）令和６年度の役員の業務執行状況について

２．総会

令和６年５月３１日　東京都千代田区一番町２５番地　全国町村議員会館

ア）令和５年度事業報告及び収支決算について

イ）令和６年度事業計画及び収支予算について

ウ）令和６年度借入金の最高限度額について